

環境部

若槻の豊かな自然環境や生活環境の保全、活用事業を推進

環境部長 宮澤 利和

環境部では第二次若槻まちづくり計画に基づき、今年度新たに環境調査事業を加え全部で9事業を進めてきました。分野目標『恵み豊かな自然と環境にやさしいまち』を目指し、次の3点を基本施策として事業展開をしてきました。

1. 生活環境、河川及び溜池等の保全、環境改善活動

環境問題に関心を高めて頂くことと、生活・自然環境の改善保全を目的に各地区の協力を得ての河川・溜池の水質調査や、外来及び有害動植物駆除対策、忘れてはならない三登山産廃処理施設に対する取り組みを実施してきました。住民の皆さんの安全確保・不安解消のため、継続していくことが重要で市とも、さらに協働連携し進めていきます。

2. 生活環境、自然環境に関する学習会、観察会開催

昭和の森公園を中心に開催しましたが天候に左右される場合があり予定より少ない実施となりました。若槻地域の恵まれた、また貴重な自然環境を認識・理解して頂いたと思います。若槻自然遺産ガイドマップの活用普及等を進めていきます。またゴミ削減は社会的な大きな問題ですが身近で取り組める生ゴミ削減について講座を開催しました。学習会、観察会を通して多くの人に参加してもらえよう取り組みを工夫しながら進めていきたいと思ひます。



自然観察会 (コマ打ち体験)

3. ホタルの里づくり

環境の一つのバロメータと言われているホタルを保護し、自然環境の保全、改善につなげることを目的として取り組んできました。ホタルウィークには地域内はもとより周辺地域からも大勢の方が訪れるようになりました。浅川住自協とも情報交換を行い、ホタル保護への理解を深め生息域拡大を進めていく事が課題と思ひます。

次年度においても自然豊かで安心して住むことのできるまちづくりのため事業を進めていきます。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

福祉健康部

若槻地区全体で支える地域福祉活動

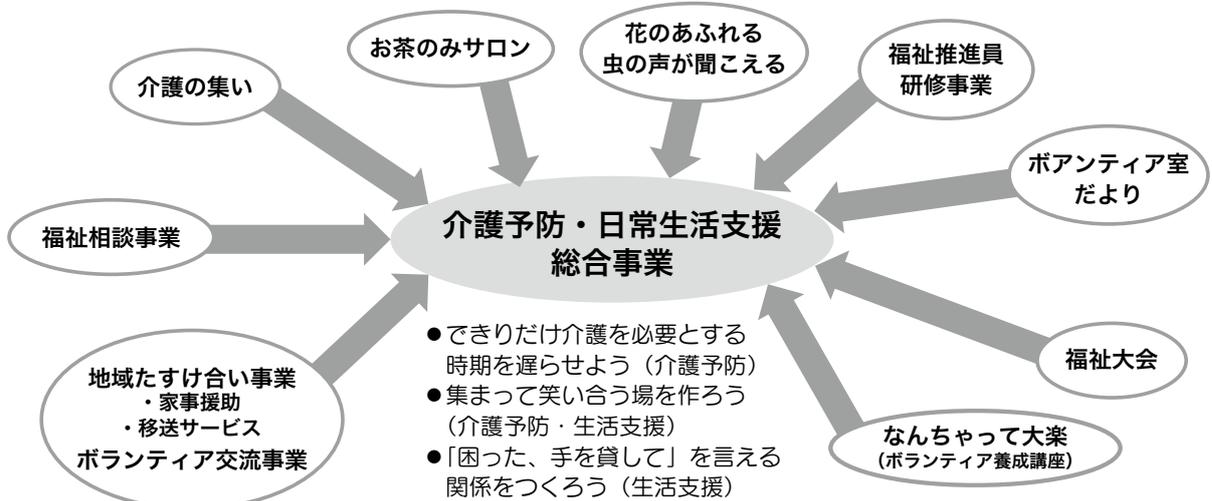
福祉健康部長 望月 文男

誰もが自分らしく、自立した生活を送る事を望んでいます、しかし日々の生活の中で、自分の努力だけでは問題の解決が難しい場合もあります。このような時に地域住民の皆さんによる自主的な行動(ボランティア活動)や行政などの公的サービス等を活用しながら問題を解決していくのが地域福祉活動だと思います。福祉活動は、地域や家庭のなかで、その人らしい、自立した生活を送れる様に、地域の皆さんが積極的に福祉活動に理解し、協力し合い参加し、人への思いやりの気持ちが大切だと思います。

長野県健康寿命

	平均寿命	健康寿命
男性	81.8 歳 (全国 2 位)	72.1 才 (全国 20 位)
女性	87.7 才 (全国 1 位)	74.7 才 (全国 27 位)

福祉健康部は多くの協力団体の皆様、ボランティアの皆様にご協力いただき、要支援、要介護状態になるのを予防し、一人ひとりの生き甲斐や自立した生活が少しでも長く送れるようにさまざまな事業に取り組んでいます。



- できりだけ介護を必要とする時期を遅らせよう (介護予防)
- 集まって笑い合う場を作ろう (介護予防・生活支援)
- 「困った、手を貸して」を言える関係をつくろう (生活支援)

これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。